

1. 国語

科目	国語総合 ①	単位数	2	区分	選択必修
教科書・教材	東京書籍「新編国語総合」			配当年次	1年次
授業のねらい・概要					
*現代文や古文、漢文の文章を読む楽しさを味わう。 *文章の内容について理解する方法を学ぶ。 *現代文は、漢字の読みや語句調べなどを中心に学習し、古文・漢文は文章に慣れることを主眼とする。					
授業の進め方					
(1)漢字の読み、書き取りのプリント学習 (2)その文章の大事な部分の書き取り、書き下し文を書くなど (3)語句調べ、古文・漢文は本文の解釈 (4)まとめの問題を解く					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	1	随想 「隣の校庭」	中間	17
	5月	2	随想 「月あかり雪あかり花あかり」		
	6月	3	表現聞く話す「スピーチ」		
	7月	4	小説1 「とんかつ」	期末	
	8月 9月	5	小説 「海の方の子」		
後期	10月	6	古文(随筆)「徒然草(仁和寺にある法師・高名の木登)	中間	17
	11月	7	小説「羅生門」		
	12月	8	漢文入門・故事「守株・五十歩百歩」など	期末	
	1月	9	評論 「おカネでは買えぬもの」		
	2月	10	評論 「自己基準と他者基準」		
評価の方法					
授業への取り組み方・定期テストの点数・授業態度・出席点・課題プリントの内容を総合的に判断して成績評価をつける					
備考					
1、2年次で分割履修。「国語総合」・「国語表現Ⅰ」の2科目から選択必修。					

科目	国語総合 ②	単位数	2	区分	選択必修
教科書・教材	東京書籍「新編国語総合」			配当年次	2年次
授業のねらい・概要					
*現代文や古文、漢文の文章を読む楽しさを味わう。 *文章の内容について理解する方法を学ぶ。 *現代文は、漢字の読みや語句調べなどを中心に学習し、古文・漢文は文章に慣れることを主眼とする。					
授業の進め方					
(1)漢字の読み、書き取りのプリント学習 (2)その文章の大事な部分の書き取り、書き下し文を書くなど (3)語句調べ、古文・漢文は本文の解釈 (4)まとめの問題を解く					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	1	評論 「ガリバーとアリス」	中間	17
	5月	2	詩 「二十億光年の孤独 ほか」		
	6月	3	随想 「石の音が聞こえる」		
	7月	4	随想 「リンゴのほっぺ」	期末	
	8月		ディベート(「リンゴのほっぺ」と戦争について)		
	9月	6	漢詩(春暁・涼州詞)史話(魏武促刀)ほか		
後期	10月	6	評論 「爆弾のような問い」	中間	17
	11月		同上		
	12月	7	小説 「沖縄の手記から」	期末	
	1月		同上		
	2月	8	古文 「伊勢物語」(芥川)		
評価の方法					
授業への取り組み方・定期テストの点数・課題プリントの内容を総合的に判断して成績評価をつける。					
備考					
1、2年次で分割履修。「国語総合」・「国語表現Ⅰ」の2科目から選択必修。					

科目	国語表現Ⅰ ①	単位数	1	区分	選択必修
教科書・教材	東京書籍「国語表現Ⅰ」			配当年次	1年次
授業のねらい・概要					
*「話す・聞く」および「書く」のそれぞれの分野において具体的な力をつける。 *身近な教材を利用して、話す力・書く力を養う。					
授業の進め方					
教科書本文を読み、表現技法について理解。テープでメモの取り方、新聞記事でまとめの訓練。作文を書きスピーチの発表、意見文の構成を学ぶ。手紙文・ビジネス文書などの知識と書く練習。					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	入門として語彙を豊かにし、比較的短い作文やスピーチ、実用文を		中間	9
	5月	1 スピーチ入門			
	6月	2 慣用句・ことわざについて学ぶ			
	7月	3 類義語・対義語について学ぶ			
後期	8月	"		期末	9
	9月	4 手紙と電話			
	10月	5 標語を作る		中間	
	11月	6 生活短歌の創作 "			
	12月	発展段階として、やや長く資料を駆使した文章の作成を学習する。		期末	
1月	7 情報を探す 図書館の活用				
2月	8 報告文作成について				
評価の方法					
授業への取り組み方・定期テストの点数・出席点・提出プリントや作品の内容を総合的に判断して成績評価をつける。					
備考					
1、2年次で分割履修。「国語総合」・「国語表現Ⅰ」の2科目から選択必修。					

科目	国語表現Ⅰ②	単位数	1	区分	選択必修
教科書・教材	東京書籍「国語表現Ⅰ」		配当年次	2年次	
授業のねらい・概要					
*「話す・聞く」および「書く」のそれぞれの分野において具体的な力をつける。 *身近な教材を利用して、話す力・書く力を養う。					
授業の進め方					
教科書本文を読み、表現技法について理解。テープでメモの取り方、新聞記事でまとめの訓練。作文を書きスピーチの発					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	聴くこと、メモすること、敬語、書かれた文章の構成について学ぶ。		中間	9
	5月	1 ニュースをメモする			
	6月	2 新聞記事をまとめる			
	7月	3 敬語について学ぶ			
	8月	"		期末	
9月	4 手紙と電話				
後期	10月	5 意見文の構成		中間	9
	11月	"			
	12月	発展段階として、材料の収集や実用文書について学習する。		期末	
	1月	6 ビジネス文書			
	2月	7 報告文と発表の技術			
評価の方法					
定期テストの点数・授業の取り組み方・提出プリントや作品の内容を総合的に判断して成績評価をつける。					
備考					
1,2年次で分割履修。「国語総合」・「国語表現Ⅰ」の2科目から選択必修。					

科目	現代文①	単位数	2	区分	選択
教科書・教材	東京書籍「新編現代文」		配当年次	3年次	
授業のねらい・概要					
教科書に書かれた近現代のさまざまな文章を読むことによって、現代日本の文化と言語活動の基層となる表現様式について学ぶ。また、さまざまな作品から、思考様式や批評精神について学び文化創造の基礎となる価値観や問題意識のあり方について学ぶ。					
授業の進め方					
教科書本文の読み。漢字学習と本文の概略の確認。重要語句の意味の確認。プリントの問題形式による内容のまとめ。					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	随想「さくらさくらさくら」（読み、漢字・語句の学習、読解）		中間	17
	5月	随想「地球儀の裏側」			
	6月	小説「ナイン」			
	7月	小説「みどりのゆび」（読解・鑑賞）		期末	
	8月	"			
9月	短歌「牡丹花」（語句の解釈・作者紹介・現代語訳・作品鑑賞）				
後期	10月	評論「安心について」（読み・漢字と語句の意味、読解）		中間	17
	11月	詩「サーカス」他三編（朗読、語訳と作品鑑賞）			
	12月	評論「からだの情景」（読み、漢字・語句の意味調べ）		期末	
	1月	"（「からだの情景」読解）			
	2月	小説「なまけものコンプレックス」（「なまけものコンプレック			
評価の方法					
授業の取り組み方・定期テストの点数・出席点・課題プリントの内容を総合的に判断して成績評価をつける。					
備考					
3,4年次で分割履修。					

科目	現代文②	単位数	2	区分	選択
教科書・教材	東京書籍「新編現代文」		配当年次	4年次	
授業のねらい・概要					
教科書に書かれた近現代のさまざまな文章を読むことによって、現代日本の文化と言語活動の基層となる表現様式について学ぶ。また、さまざまな作品から、思考様式や批評精神について学び文化創造の基礎となる価値観や問題意識のあり方について学ぶ。					
授業の進め方					
教科書本文の読み。漢字学習と本文の概略の確認。重要語句の意味の確認。プリントの問題形式による内容のまとめ。					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	小説「公然の秘密」（読み、漢字・語句の学習、読解）		中間	17
	5月	小説「山椒魚」			
	6月	同上			
	7月	評論「国際化の流れの中で」（読み、漢字・語句の学習、読解）		期末	
	8月	"			
9月	俳句「春雷」（語句の解釈・作者紹介・現代語訳・作品鑑賞）				
後期	10月	評論「マスメディアの作る世界像」（読み・漢字と語句の意味、読解）		中間	17
	11月	詩「永訣の朝」他三編（朗読、語訳と作品鑑賞）			
	12月	評論「「おもしろい」と「わかる」」（読み、漢字・語句の意味調べ）		期末	
	1月	"			
	2月	評論「最後の一句」			
評価の方法					
定期テストの点数・授業態度・出席点・課題プリントの内容を総合的に判断して成績評価をつける。					
備考					
3,4年次で分割履修。					

科目	国語表現Ⅱ	単位数	2	区分	選択
教科書・教材	東京書籍「国語表現Ⅱ」			配当年次	4年次
授業のねらい・概要					
*さまざまな教材を通して、「話す・聞く」および「書く」のそれぞれの分野において具体的な力がつくことを目標とする。 *他人とのコミュニケーション手段について具体的に学ぶ。					
授業の進め方					
教科書本文の黙読。音読の発表をする。単元の課題について、具体的に文章を整える。書く・読むの練習をする。					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	・上手な話し方・聞き方の学習。		中間	17
	5月	(3分間スピーチおよび電話の対応)			
	6月	"			
後期	7月	・手紙の書き方および宣伝文について考え、具体的に書く。		期末	18
	8月	"			
	9月	"			
後期	10月	・記録文や報告文について考え、具体的に書いてみる。		中間	17
	11月	(身近な問題や課題を設定し、それについて具体的に書く。)			
	12月	・卒業課題として、読書感想文を書く。		期末	18
	1月	(本の選定、読書、読書感想文の書き方について学び、感想文を書いて提出する。)			
評価の方法					
授業態度・出席点・提出プリントの内容を総合的に判断して成績評価をつける。					
備考					
特になし					

科目	古典講読	単位数	2	区分	選択
教科書・教材	右文書院「新古典講読」			配当年次	3年次または4年次のどちらか
授業のねらい・概要					
*枕草子・徒然草を読み、古典に表された美意識や批評精神のおもしろさについて学ぶ *漢文を読む独特の決まりについて理解をする。 *漢字について学習をする。					
授業の進め方					
(1)古文の読みや訳、漢文を書き下し文に書き換える練習をする。 (2)別紙参考プリントをもとにして、現代語訳を試みる。 (3)まとめの問題を解く。					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	入門篇として比較的短くやさしい古文を中心に学ぶ。		中間	17
	5月	1 母子猿 (古今著文集)			
	6月	2 児の飴食ひたること (沙石集) 3 春はあけぼの (「枕草子」) 4 ありがたきもの			
	7月	発展段階として、「徒然草」のやや長く難解な古語が出てくる文章を学習する。			
後期	8月	5 五月五日		期末	18
	9月	6 世に語り伝ふること 7 ある人弓射ることを習ふに			
	10月	8 悲田院の堯蓮上人は			
後期	11月	9 心なしと身ゆる者も 10 丹波に出雲といふ所あり		中間	17
	12月	やさしい漢文を故事中心に読む			
	1月	11 五十歩百歩		期末	18
	2月	12 蛍雪 13 四面楚歌 14 管鮑之交			
評価の方法					
定期テストの点数・授業態度・出席点・課題プリントの内容を総合的に判断して成績評価をつける。					
備考					
特になし					